

案件名：デザインプロセスを活用した持続的な観光商品の開発及び質向上プロジェクト



公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design

「デザインプロセス」思考を身に付けて より魅力的な観光商品を開発！

- 実施団体：公立大学法人 長岡造形大学
[公立大学法人長岡造形大学 \(nagaoka-id.ac.jp\)](http://nagaoka-id.ac.jp)
- 対象国・地域：ラオス国シェンクアン県ペク郡(ポンカム村、ムアン村)
- 実施期間：2022年10月～2025年4月 (2年6ヶ月)
- 事業実施の背景：

ラオス北部に位置するシェンクアン県は、ベトナム戦争中に激しい爆撃を受け、今なお不発弾汚染の問題が色濃く残る地域。この地に住む7割以上の住民は、農業を営んでいますが、不発弾汚染による農地不足から彼らの平均年収は極めて低い状況にあります。一方この地域は、世界遺産「ジャール平原の巨大石壺遺跡群」を有し、海外からも観光客が訪れます。このような地で生産されている蜂蜜・茶葉・米麺・手織物といった「地域に根差した生産品」を活用し、生産者自らが「消費者が手に取りたいパッケージデザイン」を考えるスキルを身に付けることで、より魅力的な観光商品開発を支援していきます。



目標と活動



目標

- ・住民がデザインプロセスやデザイン思考の有用性を理解する
- ・住民に適応した独自の商品開発手法が構築される
- ・住民が自ら対象となる農産加工品や工芸品などの既存の観光商品の質を向上できる



活動

- ・デザインプロセスや品質管理に関する勉強会の開催、ラオス国内の先進地視察や展示会を行い、ハチミツ商品の改善案や試作品を制作
- ・品質管理や生産体制の一元化に必要なチェックシートの作成及び導入
- ・商品開発手法をまとめたマニュアルをもとに、既存の観光商品の質向上を行いながら商品開発手法を修得

デザインプロセスとは…？



「ユーザー視点に立って、商品やサービスの本質的なニーズや課題を発見し、ビジネスや事業を展開するうえでの課題を解決する考え方」として、近年注目されている手法です！住民たちがデザインプロセスを学び、地域に根ざした観光商品の開発力強化を行うことで、彼ら自身の手で魅力的な商品開発を行い、住民の生計向上を目指します。

「国際協力×デザイン」でラオスの観光産業を活性化したい！ | 2022年度 | JICA 東京



蜂蜜、米麺、茶葉、手織物など住民たちが元来生産している品目が対象

「秘境の国ラオス」デザインプロセスを活用し観光商品の開発へ！ | 日本での取り組み - JICA



現地からのレポート



デザインプロセス習得を目指したワークショップでは、観光客の購買意欲に繋がる魅力的なパッケージデザインに繋がるトレーニングや品質向上トレーニングが行われています。



各家庭で使い古された伝統衣装のスカートを活用して、コースターやバッグを作成、即自的な現金収入に繋げる取り組み開始！